



## 平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション

コード番号 3097 URL <http://www.monogatari.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・COO

(氏名) 加治 幸夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長

(氏名) 高津 徹也

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

TEL 0532-63-8001

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

平成27年3月9日

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	15,878	—	755	—	998	—	455	—
26年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 444百万円 (—%) 26年6月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	76.05	75.74
26年6月期第2四半期	—	—

(注) 平成27年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年6月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第2四半期	17,658	9,854	55.7	1,643.02
26年6月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 9,847百万円 26年6月期 一百万円

(注) 平成27年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年6月期の数値は記載していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	15.00	—	20.00	35.00
27年6月期	—	25.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,675	—	2,350	—	2,500	—	1,386	—	231.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期2Q	5,994,282 株	26年6月期	5,990,082 株
----------	-------------	--------	-------------

- ② 期末自己株式数

27年6月期2Q	748 株	26年6月期	748 株
----------	-------	--------	-------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	5,990,305 株	26年6月期2Q	5,068,078 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成27年2月6日付にて、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成27年2月12日(木)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第2四半期連結累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の経済・金融政策により企業収益と雇用情勢が改善へと繋がり、緩やかな景気回復の動きが見られるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化や円安に伴う物価上昇懸念などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、円安等による原材料価格の上昇、店舗運営における人材確保の深刻化など、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境の中で当社は、今後の持続的な成長の実現を支える経営基盤を築くために、経営理念「Smile&Sexy」のもと、役職員1人ひとりが社内組織に埋没することなく、また、新たな商品・業態・事業の開発と育成に果敢にチャレンジし、時代の変化に対応するだけでなく、時代の変化を創り出す会社づくりを目指し、以下の2つの項目を底上げするための施策に取り組みで参りました。

①お客様が持つ期待感の遙か上をいく「顧客価値」を常に創造するために業態開発、業態改善を絶え間なく続ける「開発力」

②ホスピタリティ溢れ、お客様のニーズを先読みして行動できるプロフェッショナル性が高く、個性を發揮できる「人財力」

その上で、既存顧客の満足度向上や新たな顧客創造のために、各業態における品質・サービスレベルの向上、新メニュー開発、積極的な販売促進活動などの施策に取り組み、各既存業態のブランド力向上に努めて参りました。

店舗展開につきましては、当第2四半期連結累計期間中に『焼肉きんぐ』において、7店舗の新規出店（直営店5店、フランチャイズ店2店）と4店舗の改装（直営店3店、フランチャイズ店1店）、『丸源ラーメン』において、3店舗の新規出店（直営店1店、フランチャイズ店2店）『二代目丸源』において、1店舗の閉店（直営店1店）、お好み焼本舗において、1店舗の新規出店（直営店1店）と2店舗の閉店（フランチャイズ店2店）、『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』において、4店舗の新規出店（直営店4店）、連結子会社が営業している『鍋源』において、2店舗の新規出店（直営店2店）をそれぞれ実施しました。これにより当第2四半期連結会計期間末における当社チェーン全業態の店舗数は312店舗（直営店160店舗、フランチャイズ店152店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高15,878,693千円、営業利益755,167千円、経常利益998,805千円、四半期純利益455,573千円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況については、当社の事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

焼肉部門におきましては、売上高9,196,723千円となりました。

ラーメン部門におきましては、売上高2,262,480千円となりました。

お好み焼部門におきましては、売上高1,159,891千円となりました。

専門店部門におきましては、売上高1,632,820千円となりました。

その他部門におきましては、売上高356,097千円となりました。

フランチャイズ部門におきましては、売上高1,270,680千円となりました。

なお、連結子会社が営業している飲食店舗については、その他部門に含めております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は17,658,878千円となりました。主な内訳は、現金及び預金4,219,294千円、有形固定資産9,034,251千円、差入保証金2,320,774千円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は7,804,035千円となりました。主な内訳は、買掛金1,300,580千円、長期借入金1,737,197千円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は9,854,842千円となりました。主な内訳は、利益剰余金4,589,764千円であり、自己資本比率は55.7%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、4,219,294千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は1,488,080千円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が822,184千円あったこと及び減価償却費557,793千円によるキャッシュ・フローの増加等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は2,347,957千円となりました。

これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が2,017,823千円あったこと及び差入保証金の差入による支出が365,288千円あったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は484,571千円となりました。

これは主に、長期借入金の返済が368,512千円あったこと及び配当金の支払額が120,032千円あったこと等を反映したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の業績予想につきましては、平成26年11月4日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことに伴い、物語香港有限公司及び物語(上海)企業管理有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が55,694千円減少し、利益剰余金が36,256千円増加しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成26年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,219,294
売掛金	544,602
商品及び製品	249,502
原材料及び貯蔵品	64,497
その他	635,894
貸倒引当金	△173
流動資産合計	5,713,618
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	6,973,095
その他(純額)	2,061,155
有形固定資産合計	9,034,251
無形固定資産	146,120
投資その他の資産	
差入保証金	2,320,774
その他	444,670
貸倒引当金	△556
投資その他の資産合計	2,764,887
固定資産合計	11,945,259
資産合計	17,658,878
負債の部	
流動負債	
買掛金	1,300,580
未払法人税等	407,121
株主優待引当金	27,475
その他	3,100,671
流動負債合計	4,835,849
固定負債	
長期借入金	1,737,197
役員退職慰労引当金	220,950
退職給付に係る負債	210,095
資産除去債務	165,901
その他	634,042
固定負債合計	2,968,186
負債合計	7,804,035
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,697,858
資本剰余金	2,570,709
利益剰余金	4,589,764
自己株式	△954
株主資本合計	9,857,377
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	1,458
為替換算調整勘定	△12,780
退職給付に係る調整累計額	1,497
その他の包括利益累計額合計	△9,824
新株予約権	7,290
純資産合計	9,854,842
負債純資産合計	17,658,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	15,878,693
売上原価	5,307,594
売上総利益	10,571,098
販売費及び一般管理費	9,815,931
営業利益	755,167
営業外収益	
受取利息	7,606
受取配当金	88
協賛金収入	166,780
為替差益	76,149
その他	16,402
営業外収益合計	267,026
営業外費用	
支払利息	13,298
賃貸収入原価	5,079
その他	5,010
営業外費用合計	23,388
経常利益	998,805
特別損失	
固定資産除却損	63,605
システム開発中止に伴う損失	101,680
その他	11,335
特別損失合計	176,620
税金等調整前四半期純利益	822,184
法人税等	366,611
少数株主損益調整前四半期純利益	455,573
四半期純利益	455,573

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	455,573
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	405
為替換算調整勘定	△10,682
退職給付に係る調整額	△873
その他の包括利益合計	△11,150
四半期包括利益	444,422
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	444,422
少数株主に係る四半期包括利益	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成26年7月1日  
至 平成26年12月31日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	822,184
減価償却費	557,793
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△263
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	4,957
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,548
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,540
受取利息及び受取配当金	△7,694
支払利息	13,298
為替差損益 (△は益)	△76,154
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,882
有形固定資産除却損	57,028
売上債権の増減額 (△は増加)	△105,363
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△112,311
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	228,823
仕入債務の増減額 (△は減少)	404,379
未払消費税等の増減額 (△は減少)	13,896
未払費用の増減額 (△は減少)	198,396
その他の負債の増減額 (△は減少)	△48,211
預り保証金の増減額 (△は減少)	13,000
その他	104,853
小計	2,082,819
利息及び配当金の受取額	1,027
利息の支払額	△13,295
法人税等の支払額	△582,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,488,080
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,017,823
有形固定資産の売却による収入	3,949
無形固定資産の取得による支出	△34,711
差入保証金の差入による支出	△365,288
差入保証金の回収による収入	66,565
その他	△648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,347,957
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△368,512
株式の発行による収入	3,972
配当金の支払額	△120,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	△484,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	65,472
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,278,976
現金及び現金同等物の期首残高	5,498,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,219,294

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

平成27年2月1日に、当社のしゃぶしゃぶ海鮮源氏総本店向山店において火災事故が発生しました。

この火災事故により焼失した建物、厨房設備、たな卸資産等の帳簿価額総額は、約103百万円であります。

焼失した資産に保険が付されておりますが、実際の影響額及び復旧の見通し並びに今後の営業活動等に及ぼす影響は、現時点では未確定であります。